

**2020年度全国地域実践「実践大賞」
アピールレポート（共通・自由記述）**

応募団体名	(ふりがな) とさしせいねんだん 土佐市青年団	応募部門	<input checked="" type="checkbox"/> 地域活動の部 <input type="checkbox"/> 教宣活動の部
活動名称	(ふりがな) とさしどらごんよいち 土佐市ドラゴン夜市		
活動実施日	2021年 8月 1日 、 2021年 8月 15日		
活動場所	土佐市ドラゴン広場		
関係者数	40名	参加者数	約1,500名（1日と15日合算）
活動概要	(200字程度) 新型コロナウイルスの影響で、土佐市では2大夏祭り「大綱まつり」「宇佐港まつり」の中止が決定しました。これを受け青年団で地域の、特に小学生の子どもたちに夏の楽しい思い出を届けたいと「夜市」を今年初めて開催しました。 市の各団体や高校生ボランティアの協力もあり、会場には多くの笑顔が溢れ、しっかりとした対策のもと盛大に開催することができました。		

活動報告

※活動の詳細を以下に自由に記載してください。

文字だけでなく、写真など取り組みの様子や活動の風景なども入れても問題ありません。

※文字の大きさやレイアウトに指定はありません。

※「いつ、誰が、どこで、どのように、何をした、その理由は？」の5W1Hがわかるように、できるだけ具体的に書くことを心がけてください。

———<以下よりご記入ください>———

1. 背景・経緯

土佐市は高知県高知市(県庁所在地)の西隣に位置する市で、人口は約3万人、都市部から車で約20分と比較的アクセスが良く、田園・山・川・海と自然を十二分に感じられる市です。

土佐市青年団は3年前の2018年より、県青年団会長と地元の青年(大学生)が奮起し、地域の社会教育委員さんたちの応援を経て約30年ぶりの復活をし活動しています。

今年は新型コロナウイルスの影響を受け、市の2大夏祭りといわれる「大綱まつり」「宇佐港まつり」共に中止となりました。その中で、特に部活等にも所属していない小学生世代が、夏休み中に外に遊びに行くことも普段のようには出来ず、ストレスも溜まってしまっている現状を知りました。

青年団として子どもたちに、楽しい夏の思い出を届けたい、また自分たち若者世代や土佐市を元気づけたいという想いで、夜市の開催を思いつきました。長い夏休み中で定期的に楽しんでもらいたい、また密を避けて開催したいと、開催日を2回に分けることとしました。自分たちで主催するお祭りは初めての開催で、不安な点もありました。しかし昨年出張サタ事業を通じて、子ども達の笑顔が何よりの地域の力になると感じたことと、喜んでもらうことが自分たち若者世代の一番のやりがいとなった経験が背中を押してくれました。

これまでの事業でつながりができた、市役所・商工会・観光協会、そして土佐市高岡町中央商店街内にある「ドラゴン広場」(お土産・飲食・会議・休憩等できる多機能型商業施設)等に提案したところ、皆さん賛同・応援してくれることとなり開催の運びとなりました。「土佐市」としても厳しい状況下の中で、対策をとった上での開催を許可してもらい、応援してもらえたことは大きかったと感じます。

2. 「土佐市ドラゴン夜市」

①概要

日時：2020年8月1日・15日(両日土曜日) 13:00~20:00

場所：ドラゴン広場

内容：出店(ヨーヨー・スーパーボール釣り/ストラックアウト/土佐市のクワガタ/わたがし/わなげ)
企画(クワガタレース/早寝・早起き・朝ごはん着ぐるみ写真撮影会/ミニライブ/お楽しみ抽選会)

②開催場所について

「ドラゴン広場」店長の小松くんは青年団員でもあり、店長として商店街の活性化に奮闘しています。自分たち青年団としても協力したい思いがあり、開催場所をドラゴン広場にしました。(※「ドラゴン」という言葉について、土佐市の形が竜の横顔に似ていることから市のシンボルとなっています。今回の夜市のタイトルもそこから取りました。)

③行政・関係団体の協力

今回土佐市役所未来づくり課はじめ、商工会や観光協会、社会福祉協議会など市の様々な団体の協力を得たことが大変ありがたく心強かったです。未来づくり課の協力を経て市内の保育園・小中学校過程に全戸配布することができました(総数約6,000枚)。また、当日は警備等スタッフとして現場にかけつけてもらい、検温機の導入等も含めご協力頂き、安全安心に運営することができました。

③高校生ボランティアの募集

高知県社会福祉協議会・高知県ボランティアNPOセンターが主催する高校生対象の夏休みボランティア制度「ナツボラ」を活用して、ボランティアスタッフを募集し2日間合わせて26名の高校生が県内各地から参加してくれました。青年団として高校生とつながり、地域活動に楽しく触れてもらうことで未来の青年団や地域に関わるきっかけにしたいという思いがあり、実現できたことは大変良かったです。これは香川県連合青年会より「子どもキャンプ」に参加していた子ども達が大きくなって青年団員になったという素敵なエピソードを聞いたことがきっかけでした。

④企画・出店における工夫

当日は密を避けるために屋外での出店・ステージ企画を行いました。飲食は「ドラゴン広場」や近隣の商店を利用してもらうと出店せず、すみ分けをしました。また、1つの店舗に人が溜まることを避け、且つ楽しくまわってもらうために「スタンプラリー」を企画。5つ集まると抽選会の券をもう一枚もらえる仕組みにより、多くの人に楽しんでもらうことができました。

●スタッフ(青年団×高校生)の奮闘

青年団と高校生ボランティアが連携して各ブースを受け持ちました。青年団としては子ども達に楽しんでもらうことはもちろん、高校生スタッフにも運営を楽しんでもらうことを目標としてリーダー団員が奮起しました。ゲームが成功したときの掛け声からはじまり、待ち時間も楽しいトークを展開しました。子ども達のリアクションは自然体で、はじめはたじたじしていたスタッフたちもだんだんと心を掴んでいき、接する時のいきいきとした表情が印象的でした。それが子どもたちにも伝わり、満面の笑顔で楽しんでくれました。

●土佐市のクワガタ・命の大切さ

今回、地元土佐市のクワガタに子どもたちに触れてもらう機会を作りたい！とブースを構えました。自分たちで、昆虫を採りに夜の森へ出向き、汗だくになりながら探しました。当日、子ども達からは「これが土佐市におるが!？」と驚きの声が続出し、スタッフの喜びもひとしおでした。楽しみながらも、命の大切さを感じてもらいたいという団員の想いが実現した瞬間でした。

●「土佐市 思い出の情景」スライドショー

中央商店街を盛り上げたいという想いを込めて、昔の中央商店街の風景写真をスライドショーにして、「ドラゴン広場」内の休憩スペースで上映しました。土佐市市民図書館や、社会教育委員の松岡 善郎さんから写真の提供協力を得て実現することができました。子ども達を連れてきた親御さんが、懐かしの写真に釘付けになる・・・そんな温かい空気が会場の一角に流れました。

●お楽しみ抽選会

抽選会オープニングはミニライブを行いました。準備期間に公園で路上ライブをしていたところ、出会った青年にも出演してもらいました。はじめは子どもたちに冷やかされながらもまったく動じず、むしろ最後には拍手喝采になる人を引き付けていた様子に胸を打たれ、声をかけました。彼は当日祭りのブースリーダーの一人としても活躍してくれ、現在も青年団活動に関わってくれています。このことを通じて、様々な青年の発表の場やきっかけを作っていきたいと改めて感じました。

抽選会には密を避けながら多くの人が参加してくれ、会場は夜市の中で一番盛り上がりました。ここでは青年団、高校生スタッフが連携し、司会進行や景品受け渡しなど奮闘しました。セリフを一生懸命に練り、文章を分けて発表したり、子どもたちが混雑しないように声かけあって導線確保する場面など、多くの場面で自然とそれぞれの主体性が発揮されていました。

⑤成果と課題・リベンジ

全体通して、多くの協力を得て無事に成功することができました。子どもたちをはじめ親御さんにも喜んでもらったこと、高校生スタッフたちからも「楽しかった！」中には「これまで苦手だった人前で話すことが司会をやってみて苦手意識がなくなった！やってみて良かった。」という感想あり、本当に嬉しく団員一同喜びました。また、今回2回夜市を開催できたことが自分たちにとっても学びとなりました。1回目はコロナウイルス対策でもう少し充実させたい部分、抽選会時の密をどう避けるかなど課題でたところを、2回目でリベンジすることができました。役場の検温機械の導入やステージのお立ち台を作り、ステージまわりの空間を確保することなど、短い期間でリベンジできたことがより全員のやる気・やりがいにつながりました。

また、高校生ボランティアスタッフを受け入れたことが非常に良かったです。自分たちの活動や地域に楽しく触れてもらい、これからの青年団活動や地域に興味を持つ・関わるきっかけを作ることができました。また、私たち自身がどうやって皆に楽しく体験してもらえるか奮起することでチームワークを育むことができたと感じます。

●団員の感想

「青年団として地域の皆に喜んでもらえる場所を作ることができたのは、とてもやりがい溢れていた。意義があると感じた。」「コロナ禍で大きなお祭り無くなった中、青年団で夜市を成し遂げることができたのは大きな成果だと思った。楽しかった。」「高校生と一緒にスタッフをできたことが良かった。次の世代に青年団を知ってもらうきっかけにもなるし、自分たちもすごく鍛えられ、そして人手の面でも助けられた。」「子ども達の喜び姿が何より嬉しかった。特に地元土佐市にいるクワガタだと知ったときの表情は、やって良かったと思った。」

●高校生ボランティアスタッフの感想

「学校や日常生活では経験できないとても貴重な体験ができた。」「普段は学校や部活などでほとんど関わることがない子ども達と関わっていい経験となった。」「青年団の人たちはみな優しく接してくれて楽しかった。またこのような機会があれば参加したい。」

3. 今後について

今回の夜市の開催を通じて、「あきらめない」ということは必ず次につながっていくということを自分たちで体感することができました。団員たちの汗を流して奮闘する姿、終わったあとのささやかなお疲れさまの乾杯は忘れません。この経験を活かし、コロナウイルスの厳しい状況続く中ですが、自分たちにできることを一つずつ積み重ねていきたいと思います。まずは自分たちから動くことで、様々な気付きを得ながら、地元で楽しく暮らすことを模索しながら発信していきたいと思います。そしてカッコいいお兄さん・お姉さんの姿を後輩世代の皆さんにも見てもらい、自分たちが活動通じて感じた気づきや学びなど大事なことをつないでいきたいです。

ドラゴン広場 夜市にぎわう

土佐市

【土佐】土佐市高岡町甲の集客施設「ドラゴン広場」の駐車場でこのほど、夜市が開かれ、大勢の親子連れらでにぎわった。

新型コロナウイルスの影響でイベントの中止が相次ぐ中、子どもたちに夏の思い出をつくってもらおうと、土佐市青年団と同広場が1日に開催した。



大勢の親子連れらでにぎわう夜市
(土佐市のドラゴン広場)

同広場で販売されている市特産品の詰め合わせなどが当たる抽選会が開かれたほか、輪投げやヨーヨー釣り、

クワガタとカブトムシの販売など五つのブースを用意。子どもたちは「簡単にヨーヨーが釣れてうれしかった」な

どと喜んでいた。夜市は15日(午後3時〜)にも同広場で開催される予定。

(山崎友裕)

【お楽しみ抽選会の景品となった商品券の1枚】



ドラゴン広場 まいにちにこっとマルシェ商品券
¥500

有効期限 令和2年11月15日

発行 土佐市ドラゴン広場 (☎088-879-9000)
〒781-1101 高知県土佐市高岡町甲2116-3

☆ドラゴン広場内「まいにちにこっとマルシェ」にてご利用頂けます。
☆本券のご利用に際して、つり銭はご容赦いただいております。
つきましては、額面金額以上のお支払いの際にご利用ください。

The certificate features a blue dragon mascot with a yellow lightning bolt on its head, a blue whale, lemons, a green tissue box, yellow flowers, a plate of salmon, a blue fish, and two cartoon girls.



クワガタの相撲大会



ストラックアウト



お楽しみ抽選会の様子



←当日休憩スペースで上映した「思い出の情景達」動画のQRコード